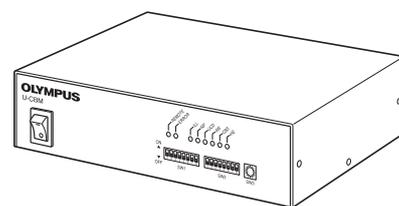


OLYMPUS®



取扱説明書

U-CBM U-HSCBM

コントロールボックス
CBM用ハンドスイッチ

お願い

このたびは、電動モジュールのコントロールボックスとハンドスイッチをご採用いただき、ありがとうございました。

電動モジュールの性能を十分に発揮させるためおよび安全確保のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

電動モジュール使用時には、常にお手元に置いていただき、お読みになったあとも大切に保管してください。



A X 7 9 5 4

目次

	頁
はじめに — 安全にご使用いただくために、必ず読んでください —	1
1 各部の名称と機能	3,4
2 使い方	5~8
1 DIPスイッチの動作設定	
2 電源の投入	
3 OPERATIONボタンの使い方	
4 OBSERVATIONボタンの使い方	
5 FL SHUTTERボタンの使い方	
6 MEMORYボタンの使い方	
3 プリセット情報一覧	9~11
4 仕様	12
5 使用中に生じた問題とその処置	13
6 システム結線	14,15
電源コードの接続について	15

はじめに

コントロールボックスU-CBMは、手動顕微鏡BX53に取付けた電動モジュール*のコントロールボックスです。ハンドスイッチU-HSCBMまたはコンピュータからの電動操作が行えます。

*電動ユニバーサルコンデンサBX3-UCD8A／電動微分干渉7ヶ穴レボルバU-D7REA／電動蛍光投光管BX3-RFAA／電動減光ホイールU-AW

⚠ 安全に関するお願い

- 1) 感染のおそれのある試料を観察する場合は、手袋などの保護具を着用し、試料が肌に直接、触れないようにしてください。また、観察後は試料が接触した部位を清浄な状態にしてください。
 - ・この顕微鏡の移動時には、試料が落下し飛散する危険性がありますので、必ず試料を取外してから移動してください。
 - ・誤った操作により、試料を破損した場合は、速やかに感染防止措置を行ってください。
 - ・この製品に組合わせる付属品は、“ご使用にあたって(P.2)”の記載事項を守ってご使用ください。記載事項を守らないと、装置の安全性が損なわれ、試料の落下による感染の可能性が高まります。
 - ・感染のおそれのある試料が接触した可能性のある機器をメンテナンスする場合は、手袋などの保護具を着用するか、機器を清潔な状態にしてから、行ってください。
 - ・感染のおそれのある試料が接触した機器を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 2) 各ケーブルの接続については、コントロールボックスU-CBMのメインスイッチが○(OFF)状態で必ず行ってください。

また、接続されたケーブルを取外す場合も、メインスイッチを○(OFF)状態で行ってください。
- 3) 安全のためおよび電気安全性能を確保するため、アースの接続を確認してください。
- 4) コントロールボックスの設置に際しては、コントロールボックスの周囲に10cm以上の空間を設け必ず横置きにしてください。
- 5) 電源コードおよび各ケーブルがランプハウスおよび周辺に触れるとコードやケーブルが溶け感電のおそれがあります。充分離すようにしてください。

安全に関するシンボルマーク

このシステムには、下記のシンボルマークが付いています。

マークの意味をご理解いただき、安全な取扱いを行ってください。

マ ー ク	意 味
⚠	不特定の一般的な危険を示しています。取扱説明書またはこのマークのあとに記載されている注意事項をお守りください。
	メインスイッチがON状態です。
○	メインスイッチがOFF状態です。

1 ご使用にあたって

- 1) この装置は精密機器ですので、衝撃を与えないよう、ていねいに取扱い、各ケーブルの接続もていねいに行ってください。
- 2) 直射日光、高温多湿、ほこり、振動のある場所での使用は避けてください。(使用環境条件は12頁「4 仕様」をご参照ください。)
- 3) U-CBMのメインスイッチがI(ON)時には、モジュールの交換、各ケーブルの着脱は故障の原因となりますので行わないでください。
- 4) 各部を分解することは、故障の原因となるので絶対に行わないでください。
- 5) 中間鏡筒などを組合わせて、ご使用になる場合に顕微鏡の高さが1m以上にならないようご注意ください。(転倒防止のため)
- 6) 本システム廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
ご不明の点は、ご購入のオリンパス販売店へお問い合わせください。

2 注意

この装置を取扱説明書に記載されている以外の方法で使用されますと安全が保証できず、更に故障のおそれがあります。この取扱説明書に従ってご使用ください。

本文内の注意文章には、次のシンボルマークを使用しています。

- 注意** : それを守らないと軽傷または中程度の傷害、または商品や周辺の家財などの破損につながる可能性がある事柄を示します。また、危険な行為に対する警告にも使用されます。
- ◎ : 参考(操作・保守において知っておくと便利な内容)

1 各部の名称と機能

コントロールボックス U-CBM

REMOTE表示

青点灯(コンピュータ操作状態)
消灯(ハンドスイッチ操作状態)

ERROR表示

赤点滅(エラーあり)
消灯(エラーなし)

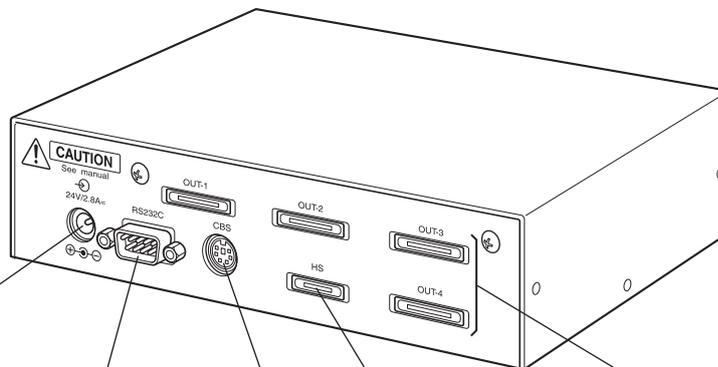
メインスイッチ
I:ON O:OFF

DIPスイッチ (P.5)
動作設定用

ロータリースイッチ (P.5)
観察法選択用

装着時緑点灯表示(エラー時点滅表示)

ILL: 電動蛍光投光管 (BX3-RFAA)
NP: 電動レボルバ (U-D7REA)
UCD: 電動コンデンサ (BX3-UCD8A)
AW: 電動NDホイール (U-AW)
CBS: コントロールボックス (U-CBS)
HS: ハンドスイッチ (U-HSCBM)



DC入力コネクタ
24V/2.8A ≒

RS-232Cコネクタ
コンピュータまたはDP21コントロールボックス用出力コネクタ

U-CBS用コネクタ

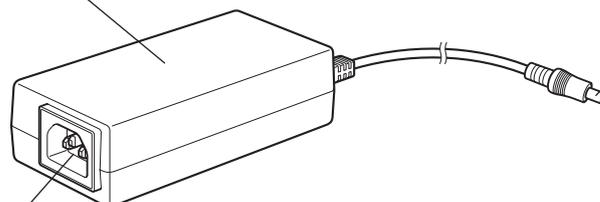
ハンドスイッチコネクタ

OUT-1~4出力コネクタ
各モジュールへの汎用出力コネクタ

ACアダプタ

出力プラグ

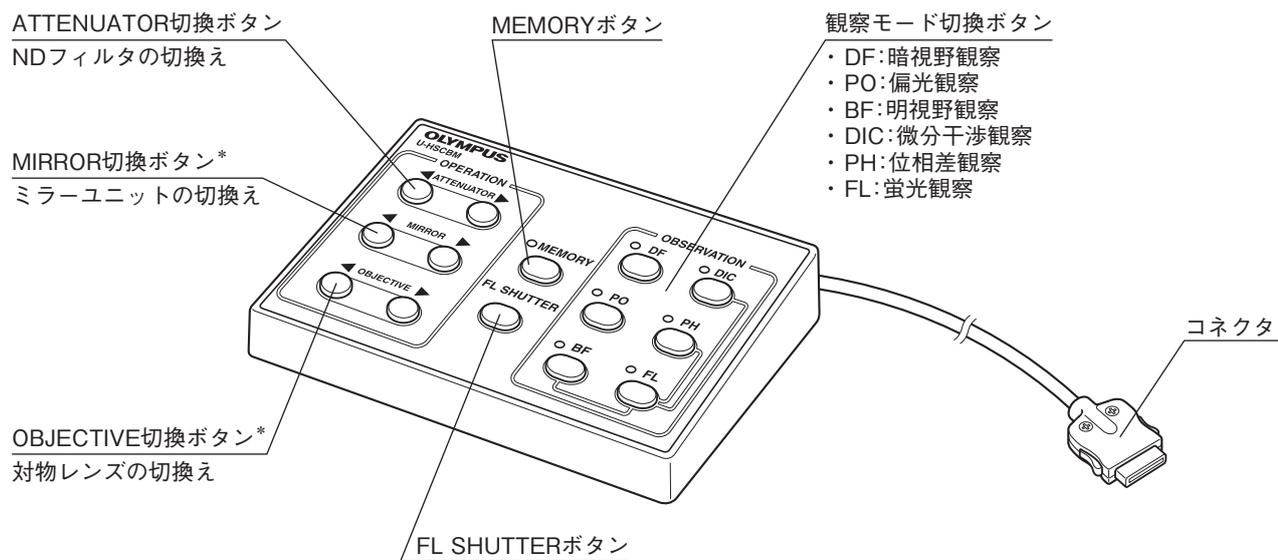
電源コードコネクタ



ハンドスイッチ U-HSCBM

◎ 駆動中の電動部位へのボタン操作は無効です。

* コードレボルバU-D7RES/コード蛍光投光管BX3-RFAS使用時はこのボタン操作は機能しません。



2 使い方

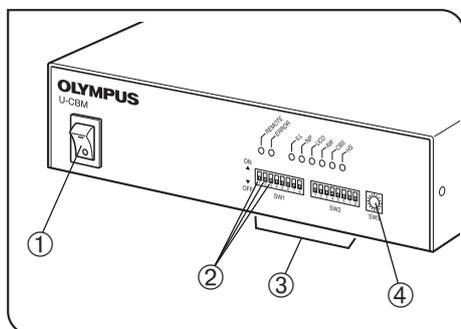


図 1

1 DIPスイッチの動作設定 (図 1)

◎DIPスイッチ部にはホコリ避けシールが貼付いていますので、はがして設定し、設定後は付属のシールを貼付けてください。

- 注意**
- ・DIPスイッチの設定(ON-OFF切換え)は、メインスイッチ①が○(OFF)状態で設定してください。
メインスイッチ **■**(ON)時に設定が確定します。
 - ・DIPスイッチの設定の際には、内部の基板部に触れないようご注意ください。触れますと静電気によって破損を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、静電気を逃してから設定を行うようにしてください。手近にある金属製のものに軽く手を触れるだけで、静電気を逃がすことができます。

DIP SW1-1/2②(図1)

- ・DIP SW1-1(デフォルト:OFF)
OFF:電源投入時に初期化をする
ON: 〳 初期化しない
- ・DIP SW1-2(デフォルト:OFF)
OFF:確認音が鳴る(正常時「ピッ」1回)
ON:確認音が鳴らない
- ・DIP SW1-3(デフォルト:OFF)
OFF:BX用
ON:IX用

DIP-SW1-4~8/DIP-SW2-1~8③(図1)

- ・メーカー使用域です。

観察法選択用ロータリースイッチ④(図1)

- ・プラスドライバでロータリースイッチ④を回して顕微鏡の設定を行います。
0~Fまでの16通りの選択が可能です。
- 0:EMPTY(デフォルト値)
- 1:明視野プランセミアポセット
- 2:明視野プランアポセット
- 3:明視野ノーカバーセット
- 4:明視野プランセット
- 5:微分干渉プランアポセット
- 6:微分干渉プランセミアポセット
- 7:位相差プランセミアポセット
- 8:位相差プランセット
- 9~F:EMPTY

◎1~8のプリセット情報はP.9~11をご参照ください。

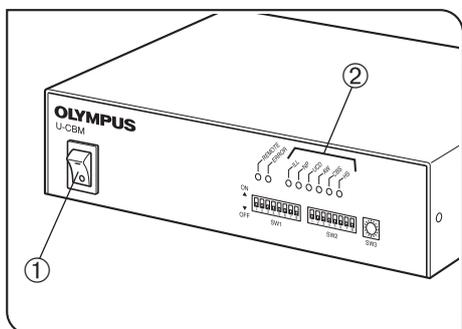


図 2

2 電源の投入 (図 2)

注意 使用する、各モジュールが正しく結線されていることを確認します。(P.14)

- 1) メインスイッチ①を I (ON) にします。
- 2) 取付けられたモジュールの表示LED②が正しく点灯しているか確認します。
- 3) DIP SW1-1がOFFなら、顕微鏡電動部位の初期化が行われます。(約5秒)
 - ・ レボルバは動きません
 - ・ コンデンサの開口絞り(AS)、トップレンズ、ターレット、ポラライザが初期化後、前回終了の観察法と現在の対物レンズに設定されている位置に移動します
 - ・ 電動減光ホイールU-AWは前回終了時と同じ状態になります。

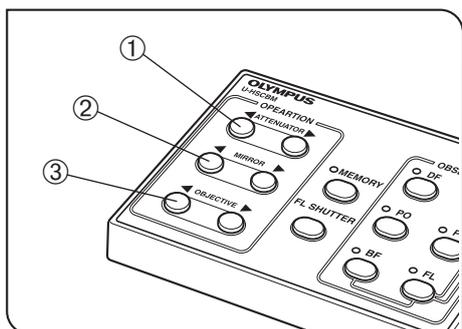


図 3

3 OPERATIONボタンの使い方 (図 3)

◎ 駆動中の電動部位へのボタン操作は無効となります。

ATTENUATOR切換ボタン①

- ◎ 落射蛍光光源の光量を変更します。
- ◀ 方向: NDフィルタを減光方向へ
 - ▶ 方向: NDフィルタを増光方向へ
 - ◀▶ 方向の限界に達するとボタンは無効となります。

MIRROR切換ボタン②

- ◎ 落射蛍光のミラーユニットを切換えます。
- ◀ 方向: 正面から見て左方向へ
 - ▶ 方向: 正面から見て右方向へ

OBJECTIVE切換ボタン③

- ◎ 対物レンズを切換えます。
- また観察法に応じて、事前に設定されている位置(透過開口絞り、コンデンサターレット、ポラライザなど)に切換わります。
- ◀ 方向: 正面から見て左方向へ
 - ▶ 方向: 正面から見て右方向へ

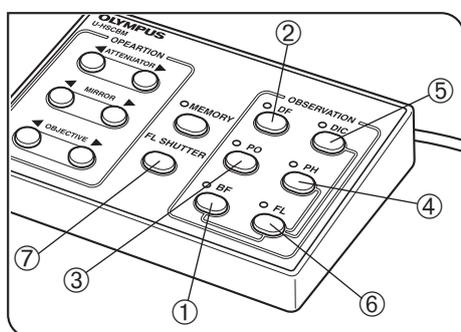


図 4

4 OBSERVATIONボタンの使い方 (図 4)

- ◎ 駆動中の電動部位へのボタンの操作は無効となります。
- ◎ 各電動ユニットの位置および設定値は、選択する観察ボタンと対物レンズ位置により決定します。(プリセット状態)
プリセット値はMEMORYボタンを使用することで、お客さまが任意に変更できます。

BF(Blight Field):明視野観察①

現在の対物レンズにおける予め登録されているBFの位置に光学素子を移動させます。

選択された観察法は、ボタン左上のLED表示が点灯します。

DF(Dark Field):暗視野観察②

PO(Polarized):偏光観察③

PH(Phase Contrast)位相差観察④

DIC(Differential Interference Contrast):微分干渉観察⑤

FL(Fluorescence):蛍光観察⑥

②～⑥共、各設定位置に光学素子を移動させます。ミラーユニット位置は前回FL観察していた位置に移動します。

- ◎ 蛍光の同時観察としては、FL+BF/FL+PH/FL+DICの3つがあり、ボタン操作は、FLボタンを押してからBF、PHまたはDICボタンを押してください。

注意 FL観察中は、開口絞り(AS)/コンデンサのターレット、トップレンズおよびポラライザは移動できません。

5 FL SHUTTERボタンの使い方 (図 4)

- ◎ 蛍光投光管のシャッタを開⇔閉させます。標本の退色を防止するため、観察してない場合は、このFL SHUTTERボタン⑦を押してシャッタを閉じてください。シャッタを開ける場合はもう一度押します。

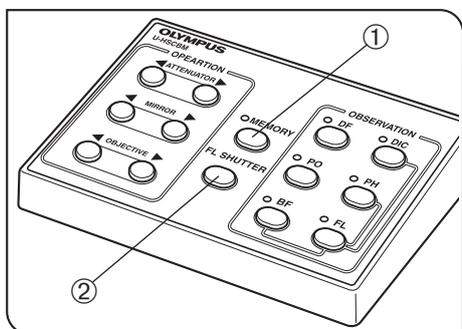


図 5

6 MEMORYボタンの使い方

(図 5)

◎現在光路にある「対物レンズ」と選択されている「観察法」のプリセットデータを任意に変更して登録できます。

登録可能データ

- ・ 蛍光投光管(BX3-RFAA):ミラーユニット/シャッタ
- ・ 電動コンデンサ(BX3-UCD8A):ターレット/開口絞り/トURRET/ポラライザ

- 1) 登録可能データの必要なものを任意に変更し、MEMORYボタン①を1秒以上押しと「ピッ」と鳴り、登録が完了します。
- 2) つづけて、次の「対物レンズ」「観察法」を選択して登録してください。

プリセットデータに戻す場合

◎任意に変更されたデータをすべて工場出荷時のプリセットデータに戻すときに行います。

- 1) コントロールボックスU-CBMのメインスイッチを○(OFF)にします。
- 2) MEMORYボタン①とFL SHUTTERボタン②を押しながら、U-CBMのメインスイッチを■(ON)にします。プリセットデータに戻った場合は「ピッ」と鳴ります。

初期化を開始します。(DIP SW1-1 OFF時)

注意

プリセットデータに戻らなかった場合は、「ピッ」「ピッ」「ピッ」「ピッ」「ピッ」と鳴り、MEMORYボタン①左上のLEDが点滅します。これは故障ですのでオリンパスへご連絡ください。

3 プリセット情報一覧

◎出荷時設定は次のようになっています。

- 1) FL観察時の出荷時設定は、電動コンデンサの開口絞り(AS)は全閉、ターレットは中間位置、トップレンズはOUT位置、ポライザはOUT位置に移動します。
- 2) 電動蛍光投光管BX3-RFAAのシャッタの出荷時設定は、FL観察時はOPEN、FL観察以外ではCLOSE位置に移動します。(任意の位置に上書き可)
- 3) ポライザの出荷時設定は、PO/DIC/FL+DIC観察時はIN位置でそれ以外はOUT位置に移動します。(OUTの位置に上書き可)
- 4) FL+PH/PH/DF観察時の開口絞り(AS)の出荷時設定は全開位置に移動します。
- 5) FL観察時の電動蛍光投光管BX3-RFAAのミラーユニットは、前回FL観察していたミラーユニット位置に移動します。

プリセットテーブル初期値一覧

◎同時観察はFL以外の観察法と同じ動作となります。

<例>FL+BF観察時はBF観察と同じ動作

◎UCD用低倍変換レンズU-CO1.25×はターレットの4~7いずれかに取付け、MEMORYボタンで登録してください。

1.明視野プランセミアポSET 対応観察法: BF/PO/FL		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA		
		TOP レンズ	ターレットNo.										ターレットNo.	
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO	
1	UPLFLN4×	OUT									BF/PO 空穴	PH/DIC /DF	7:空穴	8:U-FDICT
2	UPLFLN10×2	IN												
3	UPLFLN20×	IN												
4	UPLFLN40×	IN												
5	UPLFLN100×02	IN												
6	PLAPON1.25×	OUT												
7	PLAPON2×	OUT												

2.明視野プランアポSET 対応観察法: BF/PO/FL		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA		
		TOP レンズ	ターレットNo.										ターレットNo.	
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO	
1	PLAPON1.25×	OUT									BF/PO 空穴	PH/DIC /DF	7:空穴	8:U-FDICT
2	PLAPON2×	OUT												
3	UPLSAPO4×	OUT												
4	UPLSAPO10×2	IN												
5	UPLSAPO20×	IN												
6	UPLSAPO40×2	IN												
7	UPLSAPO100×0	IN												

3.暗視野ノーカバーSET		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA		
対応観察法: BF/PO/FL		TOP レンズ	ターゲットNo.									ターゲットNo.		
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO	
1	PLAPON1.25×	OUT								BF/PO 空穴	動かず	7:空穴	8:U-FDICT	
2	PLAPON2×	OUT												
3	UPLFLN4×	OUT												
4	UPLFLN10×2 (MPLFLN10×)	IN												PH/DIC /DF
5	MPLFLN20×	IN												
6	MPLFLN40×	IN												
7	MPLFLN100×	IN												

4.明視野プランSET		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA	
対応観察法: BF/PO/FL		TOP レンズ	ターゲットNo.									ターゲットNo.	
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
1	PLN2×(PLCN2×)	OUT								BF/PO 空穴	動かず	7:空穴	8:U-FDICT
2	PLN4×(PLCN4×)	OUT											
3	PLN10×(PLCN10×)	IN											
4	PLN20×(PLCN20×)	IN											
5	PLN40×(PLCN40×)	IN											
6	PLN100×(PLCN100×)	IN											

5.微分干渉プランアポSET		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA	
対応観察法: BF/DIC/FL		TOP レンズ	ターゲットNo.									ターゲットNo.	
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
1	UPLSAP010×2	IN	DIC U-DIC10S							BF/PO 空穴	動かず	7:空穴	8:U-FDICT
2	UPLSAP020×	IN				DIC U-DIC20							
3	UPLSAP040×2	IN					DIC U-DIC40						
4	UPLSAP060×0	IN						DIC U-DIC60					
5	UPLSAP0100×0	IN							DIC U-DIC100				

6. 微分干渉プランセミアポSET
対応観察法：
BF/DIC/FL

		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA	
		TOP レンズ	ターゲットNo.									ターゲットNo.	
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
1	UPLFLN10×2	IN	DIC U-DIC10S							BF/PO 空穴	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
2	UPLFLN20×	IN				DIC U-DIC20							
3	UPLFLN40×	IN					DIC U-DIC40						
4	UPLFLN60×OI	IN						DIC U-DIC60					
5	UPLFLN100×O2	IN							DIC U-DIC100				

7. 位相差プランセミアポSET
対応観察法：
BF/PH/DF/FL

		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA	
		TOP レンズ	ターゲットNo.									ターゲットNo.	
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
1	UPLFLN4×	OUT								BF/PO 空穴	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
2	UPLFLN10×2PH	IN	PH U-PH1-S			DF U-DFA							
3	UPLFLN20×PH	IN	PH U-PH1-S			DF U-DFA							
4	UPLFLN40×PH	IN		PH U-PH2-S		DF U-DFA							
5	UPLFLN100×O2PH	IN			PH U-PH3-S								

8. 位相差プランSET
対応観察法：
BF/PH/DF/FL

		電動コンデンサBX3-UCD8A										投光管BX3-RFAA	
		TOP レンズ	ターゲットNo.									ターゲットNo.	
レボ穴	対物レンズ	U-TLD	1	2	3	4	5	6	7	8	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
1	PLN4×	OUT								BF/PO 空穴	動かず	PH/DF /BF	DIC/PO
2	PLN10×PH	IN	PH U-PH1-S			DF U-DFA							
3	PLN20×PH	IN	PH U-PH1-S			DF U-DFA							
4	PLN40×PH	IN		PH U-PH2-S		DF U-DFA							
5	PLN100×OPH	IN			PH U-PH3-S								

4 仕様

項目	仕様
コントロールボックス U-CBM	
定格	出力:24V/2.8A= 入力:ACアダプタ100-240V~50-60Hz 1.7A
表示LED	・ REMOTE(リモート)LED ・ ERROR(エラー)LED ・ 装着モジュールLED ILL/NP/UCD/AW/CBS/HS
DIPスイッチ	・ 動作設定用DIPスイッチ ・ 観察法選択用ロータリースイッチ (0~9、A~Fの16通り)
外形寸法・質量	185(W)×48(H)×120(D)mm・約0.82kg
CBM用ハンドスイッチ U-HSCBM	
ボタン機能	・ 観察モード切換ボタン DF/PO/BF/DIC/PH/FL ・ ATTENUATOR切換ボタン◀▶ ・ MIRROR切換ボタン◀▶ ・ OBJECTIVE切換ボタン◀▶ ・ MEMORYボタン ・ FL SHUTTERボタン
外形寸法・質量	147(W)×32(H)×108(D)mm・約0.31kg
使用環境	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内使用 ・ 高度 2000mまで ・ 温度 5~40℃ ・ 湿度 最大80%(31℃まで) 31℃以上の使用環境湿度は直線的に下がり、34℃(70%)~37℃(60%)~40℃(50%)となる。 ・ 電源電圧変動 ±10% ・ 汚染度 2(IEC60664-1による) ・ 設置カテゴリ(過電圧カテゴリ) II(IEC60664-1による) 	
輸送/保存環境	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 温度 -25~65℃ ・ 湿度 0~90% 	

5 使用中に生じた問題とその処置

使い方により故障ではありませんが、本装置の性能を発揮できない場合がありますので、問題が発生した場合は、以下を参考にされて適切な処置を行ってください。

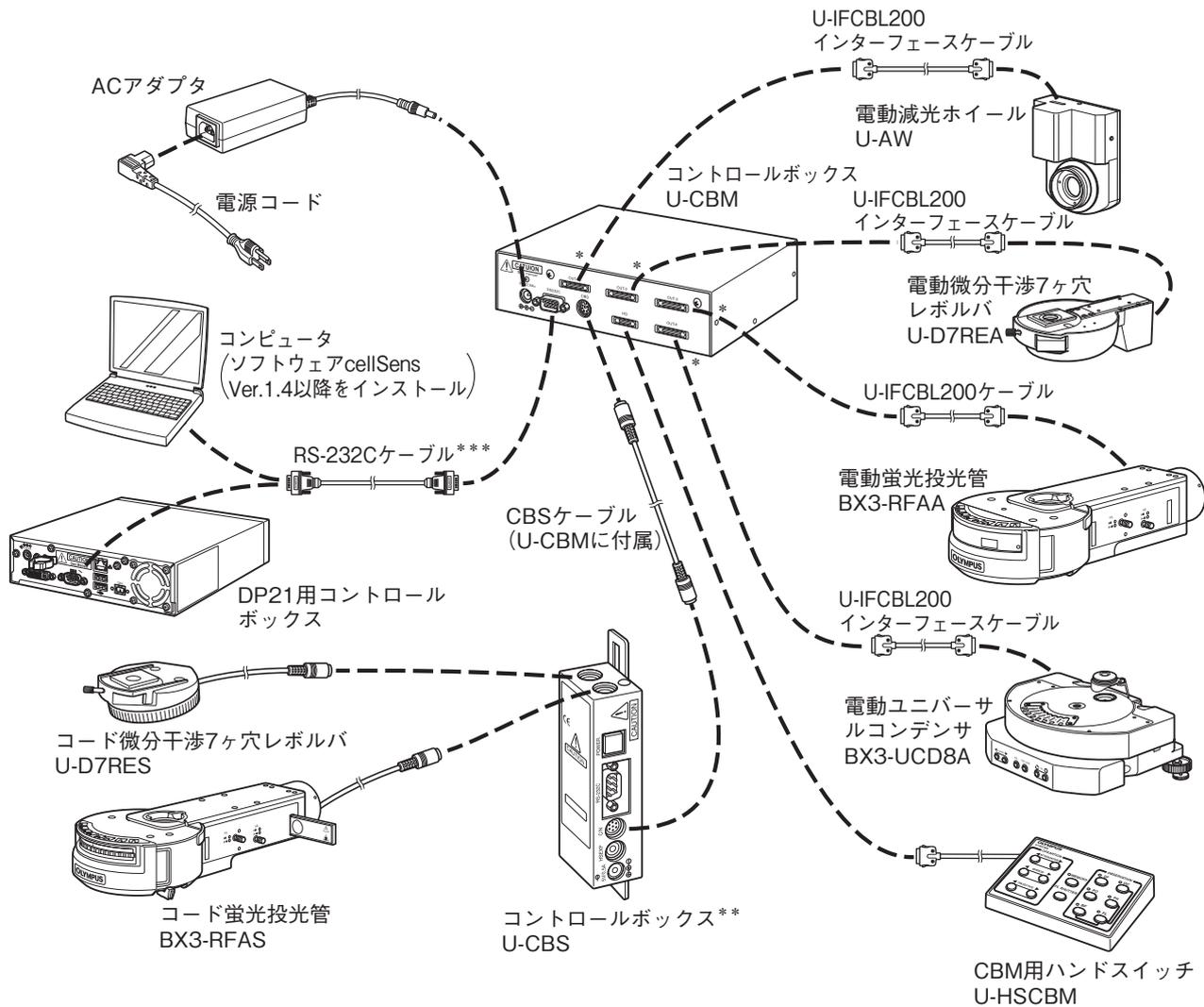
万一、現象が改善されていない場合はお求めになった販売店へご連絡ください。

現 象	原 因	処 置	参照頁
ERR(エラー)表示LEDが点滅している。	同時に点滅している装着モジュール表示LEDの接続不良。	点滅している電動モジュールの接続を行ってください。	14
メインスイッチを I (ON)にしても、電源が入らない。	電源コードが外れている。	正しく接続してください。	15
RS-232Cが通信できない。	RS-232Cケーブルの種類が違う。	指定のRS-232Cケーブルに交換してください。	14
	RS-232Cケーブルが接続不良。	正しく接続してください。	14
ハンドスイッチのボタンが効かないまたLEDが点灯しない。	ハンドスイッチの接続不良。	正しく接続してください。	14
電動モジュールが動かない。 装着モジュール表示LEDも点灯していない。	電動モジュールの接続不良。	正しく接続してください。	14

6 システム結線

注意

- ・結線時には、コントロールボックスU-CBMおよびU-CBSのメインスイッチをOFFにしてください。なお、ケーブルの結線はU-CBMに関連するもののみ記載しています。
- ・各コネクタは、必ず当社指定のモジュールに接続してください。
各コネクタの接続に際しては、コネクタ形状の向きを正しく合わせて確実に挿入してください。またコネクタに固定ねじのあるものは必ず締付けてください。
- ・組み合わせるコンピュータはIEC60950の要求を満たしたものをご使用ください。



- * OUT-1~4コネクタは汎用タイプですので、どのモジュールに使用しても問題はありません。
- ** コントロールボックスU-CBSに付属のRS-232CケーブルでU-CBS↔U-CBMを結線しないでください。
- *** RS-232Cケーブルは、市販ストレートケーブルを必ず使用してください。(異なったものでは故障する場合があります。)
コネクタは、D-Sub9P(メス)ーD-Sub9P(メス)のものを使用してください。

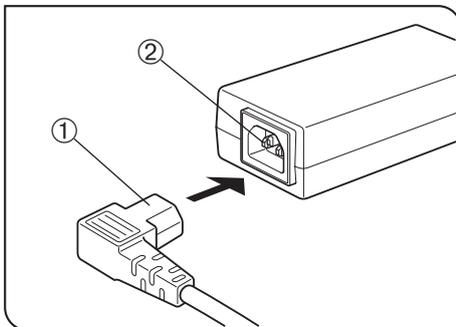


図 6

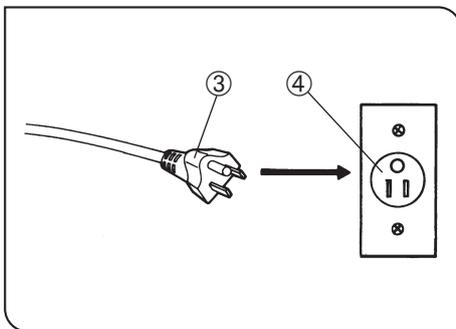


図 7

電源コードの接続について

(図6,7)

注意 電源コードは当社付属のものを必ずご使用ください。

1) 電源コードのコネクタ①をACアダプタのコネクタ②に確実に差込みます。

注意 電源コードを使用し、アース付き3芯コンセントに接続してください。コンセントのアースが未接続の場合は、当社の意図する電気安全性能が確保できません。

2) 電源コードプラグ③を電源コンセント④に差込みます。

注意 電源コードがランプハウス周辺に触れるとコードが溶け感電のおそれがあります。電源コードの設置に際しては、ランプハウス部から充分離してください。

3) U-CBMに付属のマジックテープ(3ヶ)およびケーブルホルダ(4ヶ)を使用して、各接続ケーブルをまとめてください。

OLYMPUS®

オリンパス株式会社

支店・営業所所在地

東京	〒163-0914	東京都新宿区西新宿2-3-1	新宿モノリス	☎03 (6901) 4040
札幌	〒060-0034	札幌市中央区北四条東1-2-3	札幌フコク生命ビル	☎011 (222) 2553
仙台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1-13-4	泉エクセルビル	☎022 (218) 8497
横浜	〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-3-12	新横浜スクエアビル	☎045 (474) 5014
静岡	〒420-0851	静岡市葵区黒金町11-7	三井生命静岡駅前ビル	☎054 (255) 6245
新潟	〒950-0087	新潟市中央区東大通り2-4-10	日本生命新潟ビル	☎025 (245) 7338
松本	〒390-0815	松本市深志1-2-11	松本昭和ビル	☎0263 (36) 5332
金沢	〒920-0024	金沢市西念1-1-3	コンフィデンス金沢	☎076 (222) 3438
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2-2-2	名古屋丸紅ビル	☎052 (201) 9698
大阪	〒532-0003	大阪市淀川区宮原1-6-1	新大阪ブリックビル	☎06 (6399) 8004
松山	〒790-0003	松山市三番町7-1-21	ジブラルタ生命松山ビル	☎089 (931) 2650
広島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16-11	日本生命広島第2ビル	☎082 (228) 1922
福岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通り3-6-11	福岡フコク生命ビル	☎092 (711) 1883



Olympus Customer Information Center

お客様相談センター

☎ 0120-58-0414 FAX 03 (6901) 4251

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 平日8:45~17:30

取扱販売店名

住所	
店名	
担当者	